たてやま議会だより

再生紙
平成21年11月号 No.87 発行／館山市議会 TATEYAMA
〒294-8601 館山市北条1145-1 ☎0470-22-3527
●議会メールアドレス gikai.j@city.tateyama.chiba.jp

市役所市民課窓口

平成21年第3回臨時市議会（7月28日開催）

平成21年度一般会計補正予算など3議案を議決

平成21年9月定例市議会

職員の勤務時間等条例の改正など16議案を議決

平成20年度一般会計及び特別会計決算を認定

9月定例市議会は、9月2日から29日までの会期28日間にわたって開かれ、市長から提案された18議案、議会から提出された5議案が、いずれも原案どおり可決、同意、認定されました。

9月定例会において、会議初日（9月2日）は、会期を28日間と決定した後、市長から各議案について提案理由の説明が行われました。

9月7日及び8日は、8人の議員が一般質問を行い、市政の諸問題について市当局の考えをただしました。

9月11日は、決算を除く各議案について質疑を行った後、所管の常任委員会に審査を付託しました。

9月15日は、各会計決算に対する質疑を行い、決算審査特別委員会を設置、委員を選任し、審査を付託しました。

最終日（9月29日）は、各委員会の委員長が委員会での審査の経過及び結果を報告した後、討論、採決を行いました。

続いて、追加議案の審議を行い、閉会しました。

主な内容

★議案の概要 2頁
★委員会の審査 3～4頁
★一般質問 5～9頁
★議決結果 10頁

議案の概要

第3回臨時会に提案された議案を紹介します。

議案第47号　館山市市税条例の一部を改正する条例の制定について＝農地法及びそれに関連する土地改良法の規定が改正されたことに伴い、条文の整備を行おうとするもの。

議案第48号　工事請負契約の締結について＝都市計画道路船形館山港線道路改良工事に係る一般競争入札の結果、株式会社岡部建設が1億4700万円で落札したので、同社と工事請負契約を締結しようとするもの。

議案第49号　平成21年度館山市一般会計補正予算（第3号）＝歳入歳出それぞれ3億9001万8千円を追加し、総額166億1139万7千円としようとするもの。

国の第一次補正予算に伴うもので、主なものとしては、市民センターホール棟解体事業、用地購入事業、コミュニティセンター駐車場補修事業、女性特有のがん検診推進事業、農地有効利用支援整備事業、道路新設改良事業、橋梁整備事業、公園園路整備事業、消防施設整備事業、理科教育設備整備事業、学校情報通信技術環境整備事業、公民館安心トイレ整備事業、市民運動場施設等改修事業など。

9月定例会に提案された主な議案を紹介します。

議案第50号　館山市職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について＝平成20年の人事院勧告に基づき国家公務員の勤務時間が平成21年4月から週40時間を週38時間45分に、1日8時間を7時間45分に改正され、千葉県においても、人事委員会勧告に基づき、平成21年9月から同様に改正されることとなり、市においても同様に改正し、平成22年1月から勤務時間を変更しようとするもの。

議案第51号　平成21年度館山市一般会計補正予算（第4号）＝歳入歳出それぞれ2億5766万4千円を追加し、総額168億6906万1千円としようとするもの。

歳出の主なものとして、市税還付金及び還付加算金、子育て応援特別手当支給事業、南房総広域水道企業団出資金、臨時雇用創出事業臨時特例基金事業、「園芸王国ちば」強化支援事業、有機農業支援事業、漁港建設事業、小規模事業者経営改善資金利子補給事業、中小企業資金融資事業、情報案内表示板整備事業、館山市観光プロモーション活動推進事業資金貸付金、観光振興基金積立金、館山港交流拠点整備事業、耐震改修促進計画策定事業、庁舎建設基金返還金積立金の増額など。

議案第52号　平成21年度館山市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）＝歳入歳出それぞれ1316万6千円を追加し、総額65億417万3千円としようとするもの。

歳出の主なものとして、出産育児一時金、過年度分療養給付費等交付金返還金の増額など。

議案第53号　平成21年度館山市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）＝歳入歳出それぞれ296万5千円を追加し、総額5億7376万4千円としようとするもの。

歳出として、後期高齢者医療広域連合納付金を増額。

議案第54号　平成21年度館山市介護保険特別会計補正予算（第1号）＝歳入歳出それぞれ1億1258万2千円を追加し、総額39億843万1千円としようとするもの。

歳出の主なものとして、介護給付費準備基金積立金、過年度分介護給付費負担金返還金、過年度分介護給付費支払基金交付金返還金、過年度分包括的支援事業等交付金返還金、過年度分地域支援事業支援交付金返還金、一般会計繰出金の増額など。

議案第55号　平成21年度館山市下水道事業特別会計補正予算（第1号）＝歳出において、汚水幹線管渠建設工事に係る県道舗装本復旧について、舗装復旧費負担金を1400万円減額するとともに、汚水管渠築造工事請負費で同額の増額をしようとするもの。

認定第1号ないし認定第7号　平成20年度館山市一般会計ほか6特別会計決算の認定について＝各会計決算について、地方自治法の規定に基づき監査委員の意見を付して議会の認定に付するもの。

【追加議案】

議案第56号　損害賠償の額の決定及び和解について＝市公用車による交通事故に係るもの。

議案第57号及び議案第58号　館山市名誉市民の称号を贈ることについて＝市制施行70周年を迎えるに当たり、黒川浩さん（伊戸2570）及び本多馨さん（館山582の1）に館山市名誉市民の称号を贈ろうと同意を求めるもの。

議案第59号　館山市教育委員会委員の任命について＝任期満了に伴い、引き続き石井達郎さん（北条59の4）を任命しようと同意を求めるもの。

議案第60号　館山市監査委員の選任について＝任期満了に伴い、識見を有する者から選任する監査委員に、引き続き宮﨑健

一さん（安布里85）を選任しようと同意を求めるもの。

【議会提案議案】

発議案第6号～発議案第8号＝請願・陳情の趣旨によるもの

発議案第9号　健康保険制度の抜本的な見直しを求める意見書について＝国を保険者とし、すべての国民を対象とする医療保険制度の一本化を早急に実現するよう国に要望するもの。

発議案第10号　認定第1号平成20年度館山市一般会計歳入歳出決算の認定についてに対する附帯決議＝経常収支比率が101・5％となり、厳しい財政状況であることから、次の事項を着実かつ速やかに実施することを強く求めるもの。

1　市の厳しい財政の現状を市民に周知し、理解と協力を得ること。

2　市執行部、職員及び議会が一丸となって健全財政の確保に努めること。

3　監査委員の審査意見書の中で示された事項を厳格に履行すること。

【意見書提出】

意見書4件を関係機関に提出しました。（発議案第6号～第9号の趣旨によるもの）

委員会の審査

各委員会における審査について、主なものをお知らせします。

総務委員会

議案3件、請願1件について審査を行いました。

議案第50号　館山市職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

勤務時間15分の短縮が時間外勤務手当にどう波及するのか聞いたところ、行政サービスの維持と同時にコスト増を招かないことが基本であり、より一層業務効率化に努め、時間外勤務が増えないようにしたいとの説明がありました。

議案第51号　平成21年度館山市一般会計補正予算（第4号）

新政権に変わることにより、国の一次補正予算の影響をどのように考えているのか聞いたところ、市で関係する事業は子育て応援特別手当交付金であり、凍結や見直しの情報は入っておらず、予定通り進められると判断しているが、国の動向を見極めながら予算執行をしていきたいとの説明がありました。

また、森林環境整備委託料でのマテバシイの伐採後の利活用について聞いたところ、山林所有者と検討していくとの説明がありました。

また、子育て応援特別手当支給事務について、現状の職員数で対応可能なのか聞いたところ、平成21年度支給対象者は150名前後であり、新システムを導入し、通常業務内で対応していくとの説明がありました。

また、地域再生基盤強化工事請負費について、これまでの投資額を聞いたところ、平成8年度から着手して今年度完了予定であり、今回の補正を含め11億3600万円であるとの説明がありました。

また、城山公園へ総合案内板を設置する動機を聞いたところ、平成18年度に設置計画を策定して城山公園が候補の一つとなっていること、また、里見茶屋がオープンして城山から赤山にかけてのウォーキングコースを設定したことも選定理由であるとの説明がありました。

議案第56号　損害賠償の額の決定及び和解について

事故の多くがごみ収集車だと思うが今の収集体制が適正であるのか聞いたところ、現在、車6台、職員13名で市内1600箇所の搬出場所を回っているが、急いで回る状況にはないとの説明がありました。

請願第14号　市道八幡高井線、八幡神社第二鳥居横交差点に信号機を求める請願書

現在、公安委員会に設置要望している信号機は6箇所で間違いないか聞いたところ、そのとおりであり、館山警察署を通じて要望してあるとの説明がありました。

また、緊急性や市としての優先順位は反映しているのか聞いたところ、公安委員会が指針に基づき判断しているとの説明がありました。

文教民生委員会

議案3件、陳情4件について審査を行いました。

議案第52号　平成21年度館山市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

出産育児一時金の補正について支給額と対象人数の考えを聞いたところ、国の緊急少子化対策として従来の出産育児一時金を4万円引き上げて42万円とするにあたり50名の引き上げ分を計上したとの説明がありました。

また、保険税引き上げにより納付状況はどうか聞いたところ、8月末現在の現年課税分で昨年同時期と比べ、調定額で1億1400万円ほど増えているが、収入済額では1200万円ほど減であり、徴収率では2・6％減となっている。経済状況の悪化や引き上げ分がかなり影響しているのではないかとの説明がありました。

議案第53号　平成21年度館山市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）

対象者数の推移に変動があるのか聞いたところ、多少伸びており、8000人を超えているとの説明がありました。

議案第54号　平成21年度館山市介護保険特別会計補正予算（第1号）

印刷費の内容について聞いたところ、保険料軽減のための広報周知用にパンフレット等を作成するもので、国から介護従事者処遇改善臨時特例基金として同額の繰入があるとの説明がありました。

建設経済委員会

議案1件について審査を行いました。

議案第55号　平成21年度館山市下水道事業特別会計補正予算（第1号）

歳出において、県負担金から工事請負費に組み替えられたことにより支出が少なくなる可能性はないか聞いたところ、今後の入札結果により入札差金が出ることが想定されるとの説明がありました。

また、対象工事に関する家屋調査の有無について聞いたところ、事前調査を行い、これに対する苦情等はないとの説明がありました。

また、第2期計画の進捗状況・完了年度について聞いたところ、対象面積が195ヘクタールで、現在8割程度完了している、認可では平成24年度完了を目途としているとの説明がありました。

決算審査特別委員会

平成20年度一般会計及び特別会計の審査に当たり、9人の委員で構成する決算審査特別委員会を設置し、慎重に審査を行いました。

委員は次のとおりです。

（◎委員長、○副委員長）

◎鈴木　順子　○榎本　祐三
三澤　智　吉田　正二
真田　司郎　今井　義明
内藤　欽次　松坂　一男
小幡　一宏

主な質疑は次のとおりです。

一般会計歳出では、防災対策費の消耗品費の内容を聞いたところ、文具費や防災備蓄機材のための消耗機材費等であり、備蓄した防災用品の主なものは毛布7240枚、土嚢袋1万7800枚、防水シート555枚であるとの説明がありました。

民生費の介護保険関係の繰出金が前年度より増額になっていることに関して今後の傾向を聞いたところ、法律で負担金が定められており、今後、高齢化率が高くなり、介護認定者数も増える中、給付も多くなると想定されるので、増加傾向が予想されるとの説明がありました。

衛生費の焼却灰処理業務委託料等に関して、ゴミ手数料の値上げ等ある中、焼却灰の処理方法を変更することで市財政への費用軽減に役立ったか聞いたところ、新たな分別のプラスチック分などで歳出も増えたが、処理方法変更で委託料など3300万円程縮減できたので、ゴミ処理の全体的な経費としては節減できたとの説明がありました。

労働費の勤労者厚生対策預託金に関して滞納状況を聞いたところ、返済延滞は時々あるが貸し倒れは発生していないとの説明がありました。

農林水産業費のあわび種苗放流事業補助金に関して漁獲高での成果を聞いたところ、平成20年度の放流量は270キログラムで、漁獲量は2918キログラムである。ただ、放流がそのまま漁獲につながらないので、成長や産卵を経て成果が出るとの説明がありました。

商工費の印刷製本費に関して、作成したパンフレットの効果を聞いたところ、観光客や電話問い合わせ時に確認した限りでは、少なからず効果が出ていると考えているとの説明がありました。

土木費の城山公園駐車場整理委託料の内容を聞いたところ、桜の開花時期に駐車場の混雑やトラブル防止のため、警備員を1日あたり5名で8日間配置しているとの説明がありました。

消防費の自動車購入費について内容を聞いたところ、3000ccディーゼルエンジンの消防ポンプ車で、水槽は搭載していないものであるとの説明がありました。

教育費の館山若潮マラソン大会委託料に関して、支出に見合う経済効果があるのか聞いたところ、観光協会による宿泊者数は884人であり、約700万円の宿泊効果があった。その他、みやげ物や交通関係の利用があるため、5000人以上の選手とその家族等の来訪を考えると、かなりの経済効果があると考えられるとの説明がありました。

災害復旧費の工事内容を聞いたところ、道路関係で8箇所、河川関係で6箇所であるとの説明がありました。

歳入の市税に関して、徴収で特別努力した点を聞いたところ、地区担当のほか滞納整理担当を設置して財産調査や差し押さえを強化し、また、インターネット競売の実施により滞納解消を図ったとの説明がありました。

後期高齢者医療特別会計で、制度廃止が現実化した場合の事務に与える混乱について聞いたところ、制度立ち上げに市では5000万円ほどかかっており、広域連合では億単位の費用がかかっているので、かなりの影響があると思うとの説明がありました。

一般会計の採決については、賛成多数で認定すべきものと決しましたが、極めて厳しい財政状況となったことは憂慮すべき事態であるとして、附帯決議がつけられました。

一般質問

市政に関する一般質問は、9月7日及び8日の2日間にわたり、次の8名の議員が行ないました。

議員別の質問要旨、分野別の主な質問と答弁は次のとおりです。

一般質問通告要旨

榎本祐三

①館山市第2期基本計画（広域的な施設整備）に関して（火葬場・ゴミ処理施設・消防本部施設）
②看護学校の設立に関して
③館山市の財政状況と行財政改革について

鈴木正一

①館山湾振興ビジョンの今後の対応について　②農業の振興について
③安心・安全のまちづくりについて　④ゴミ分別の成果と焼却施設の検討について

鈴木順子

①観光シーズンを終えての海辺のルールブックの活用結果について
②災害対策について
③生活保護世帯の状況について

三上英男

①米に含まれるカドミウムの基準値が強化されたことについて
②地球温暖化防止について
③地方分権に対する市長の対応について

石井信重

①子育て支援に対する取り組みと現状について　②交通安全対策について
③海・浜におけるルールブック等「安全」「安心」について　④有害鳥獣対策について

吉田正二

①新型インフルエンザの予防対策と発生時の対応について
②災害時の緊急対応と災害情報の受信・情報発信の一元化に関して
③東京湾アクアライン800円化に伴う市の観光や経済効果に及ぼす影響について
④館山警察署管内の交通事故死の増加に対する今後の対策と高齢者への交通指導に関して

内藤欽次

①八幡区民が提出した請願（信号機設置要望）について
②民間業者が計画中の風力発電事業の地区住民への影響について
③小中学校再編問題の現在の状況、地域住民との話し合いについて

山口安雄

①市道に架かる橋梁耐震検査の進捗状況と今後の取り組みに関して
②赤道・青道の把握現況と今後について　③公設市場跡地利用構想と計画について
④館山市農政の今後について

※紙面の都合上、通告質問の要旨を掲載しています。詳細については、12月上旬ごろ図書館に配置予定の会議録、または館山市ホームページの会議録検索システムでご覧ください。

主な質問と答弁

防災・交通

・消防本部
・私有地内の災害貸付
・災害情報一元化
・交通安全対策
・信号機設置
・防災マップ

問　基本計画に示されていない消防本部施設の建設が計画されているようですが、建設を計画するに至った理由について伺います。

答　県下一斉に行っている消防救急無線のデジタル化への移行時期が迫ってきたため、地権者に現在の消防本部施設の耐震化について協議したところ、地権者から土地の返還を求められたことなどにより、早急に建設する必要が生じたものであると消防本部から聞いています。

問　私有地内の災害により自前で整備修復を余儀なくされている住民に対して災害貸付を行えないか伺います。

答　個人財産については個人で管理していただくのが基本であると考えています。

問　災害時の情報収集や情報発信の一元化は確立されているか、また、市民に周知されているか伺います。

答　災害発生時には、災害配備編成表に基づき速やかに職員を招集し、本部班において情報収集を行い、被害状況により市関係各課、消防団、安房消防、警察等へ巡廻警備や救援、救出、復旧の依頼、指示を行っており、一元化は確立していると考えています。市民へは、より実践的な防災訓練の実施や各地区への説明会等の機会を通じ、さらに周知していきます。

問　最近の交通事故の状況と交通事故対策について伺います。

答　館山警察署管内では8月末までに9件の事故が発生し、市内では10人が犠牲になっています。市としては警察署と協力し、速やかに交通安全対策や街頭監視、広報活動、啓発活動を実施するとともに、事故現場の緊急現地診断を行い原因追求と対策について協議しました。今後も引き続き注意喚起に努めていきます。

問　信号機設置の請願理由をどう解釈しているか、また、設置に向け力を発揮してもらいたいがどうか伺います。

答　過去5年間で4名の尊い命が亡くなられているということで大変痛ましいことだと感じており、信号機設置は地区住民の切なる要望と重く受け止めています。設置については市議会とともに対応していきたいと思っています。

信号機設置要望箇所

問　防災マップの作成状況について伺います。

答　市内を7つの地域に分けてマップの原図となる防災無線の位置や医療機関、警察など主要な防災関係公共施設や、土砂災害、津波危険区域などのデータベース化の作業を行い、今後、避難場所の位置や避難経路などについて、避難時の安全確保などを各地区自主防災会や地元消防団などの意見を取り入れるため、各地区で説明会を行い、それらの意見を反映させた形で作成していきます。

保健・医療・福祉

・看護学校設立
・子育て支援
・新型インフルエンザ
・生活保護

問　看護学校の設立に関して市として把握している課題・問題点及びそれに対する取り組みについて伺います。

答　看護学校設立の計画に対する課題や問題点等は事業者自身が示すべきものと考えています。なお、看護学校設立は、地域医療確保のために安房地域全体で対応すべき問題だと認識していますので、事業者から内容等を示してもらい、それに対する安房医師会の意向を受け、安房3市1町で連携して対応していきたいと考えています。

問　元気な広場のスタッフ等の体制、利用状況はどうか、また、市内学童クラブの状況について伺います。

答　元気な広場はスタッフとリーダーを含めて3名、ファミリーサポートセンターは1名の勤務体制です。一日平均約40組、100名弱の方が利用しています。0歳から3歳児がほぼ9割を占め、館山地区と北条地区の児童で約6割を占めています。

学童クラブは市内に9箇所あり、うち補助金対象クラブは7箇所で運営され、約270人が登録しています。

問　新型インフルエンザの予防対策と発生時の対応について伺います。

答　昨年度策定した対応方針に基づき、国内発生時から市長を本部長とする対策本部を設置し、流行状況に応じて本部会議を行い、感染拡大防止に努めています。市民へは、チラシの全戸配布や広報への掲載及びポスターの掲示などを行い、予防の周知を行いました。今後も流行状況に応じ、安房健康福祉センターと連携をとり、迅速に対応

していきたいと考えています。

問　生活保護の相談から見られる相談者の生活状況について伺います。

答　相談に来る方は高齢や病気・障害等の理由から収入が減ったことにより生活に困っている状況が多い傾向にあります。また最近は不況の影響を受けた方からの相談も増えています。今年度の相談件数は8月末で103件で、昨年度と比べ34件多くなっています。

農林水産業

・農業振興
・有害鳥獣対策
・米のカドミニウム

問　農業振興に関して、耕作放棄地の状況について伺います。

答　昨年度実施した耕作放棄地全体調査により農業的利用ができると判断した農地を営農再開に導くことを目標に、各自治体で対策協議会を設置することが進められています。市では、既存の担い手育成総合支援協議会がその役割を兼ねることで承諾を得ています。今年度からは、所有者による耕作の再開又は担い手など借り手による耕作や畜産農家による飼料生産・放牧等により耕作放棄地を解消する支援策を講じていくことになります。今年度は、その第一段階として、対象農地所有者に対し耕作放棄された経緯などを把握することを目的に意向調査の実施を予定しています。市内には、高齢化により営農できなくなったなど様々な理由で耕作放棄地が多く存在しており、営農再開は大変難しい課題ですが、関係機関と協力し耕作放棄地の解消に努めていきます。

問　那古地区のイノシシの状況と有害鳥獣対策協議会の活動について伺います。

答　16年度に4頭捕獲したのを始めとし、年々捕獲数も増えたとの情報を得ています。当初の被害範囲は山中のタケノコや山菜へのものでしたが、昨年度は小原地区のほとんどの水田に入られるなど山間地域の平地部分への被害に広がっている状況にあります。協議会については、農家組合、生産者団体、鳥獣保護員、猟友会、農協、市で構成され、平成14年に組織され、捕獲活動については協議会加盟の生産者団体等がハンターを確保して実施されています。協議会は、捕獲活動を支援するための必要な許可申請や市への補助金手続きとその配分など事務的な部分を担っています。また、設置希望の電気柵等の補助事業や狩猟免許の取得推進のため事業実施主体となって市への申請手続きや国事業を活用しての捕獲機材の整備などを行っています。

捕獲されたイノシシ

問　米に含まれるカドミウムの基準値が強化されたことに関して、市及び周辺の現状はどうか、また、カドミウムが稲に吸収されにくい栽培法の文書が市から配布されたが農家が混乱していないか伺います。

答　平成16年から19年までに千葉県が行ったサンプリング調査及び平成20年に国が行った国内産米穀調査の結果、市を含め千葉県内で改正後の基準見込値を上回った地点はありません。また、文書配布への反応として、栽培方法に関するもの1件、米とカドミウムの関連に関するもの3件の問い合わせがありましたが、特に混乱は生じていないと考えています。

環境衛生

・地球温暖化防止
・風力発電
・水質検査
・ゴミ処理施設

問　地球温暖化防止について、家庭からの二酸化炭素削減には行政の啓発が最も効果的と思うがどうか、また、新エネルギーのうちバイオマス部門の取り組みが遅れていると思うがどうか、また、ごみ発電は安定した電力供給源だと思うがどうか、紙容器の分別収集を行うべきだと思うがどうか、4点伺います。

答　二酸化炭素削減について、市民への啓発活動や学校教育での取り組みが重要であると認識していますので、家庭でできる地球温暖化対策をシリーズで広報に掲載したりCo2家計簿の普及促進など市民への啓発に努めています。

バイオマス部門の取り組みについては、利活用促進を目的に、この3月に館山市バイオマスタウン構想を策定しました。これは、館山市にあるバイオマス資源の存在と、それを活用する方向性を示し、民間活力を誘導することを想定しており、今後、この構想に沿って取り組んでいきます。

ごみ発電については、地球温暖化防止にとって大変重要なことであると考えています。現在、様々な方法が開発されていますので、今後も調査、研究を行っていきます。

紙容器の分別収集については、地球温暖化対策やゴミの減量化にとって有効と考えていますが、コストなどの問題もあるので今後の課題として考えていきます。

問　民間業者が計画中の風力発電事業の地区住民への影響や計画への賛否について伺います。

答　風力発電は化石燃料に依存しないクリーンなエネルギーであり、地球温暖化対策の有効な手段である反面、計画内容によっては、騒音や低周波音被害、鳥類への悪影響等が懸念されています。今回の計画は立地場所が市外ですが、市の隣接地区住民の意向を第一に尊重して判断していきます。

問　河川の水質検査や残土堆積場からの浸出水の継続的な検査を実施しているか伺います。

答　埋立地等からの浸出水による環境汚染を防止するため、市内13箇所から採取し、重金属等の有害物質の検査を年1回継続的に実施しています。なお、市には鉱山等がなく自然界からの有害物質は考えにくいため河川での水質検査は実施していません。

問　広域ゴミ処理施設の建設促進が掲げられているが、どのような計画になっているか伺います。

答　最優先候補地を大津地区（南房総市）として、事業実施に向けた手法などを調査するため、今年度、ゴミ処理広域化基礎調査を実施しています。今後は、その結果により建設のための事務を年次的に行っていくと安房郡市広域市町村圏事務組合から聞いています。

観光

- 館山湾振興ビジョン
- 海・浜のルール
- 東京湾アクアライン

問　交流拠点「渚の駅」の整備が進む中、館山湾振興ビジョンを今後どのような計画で実施していくか伺います。

答　館山湾振興ビジョンの策定に当たっては、多目的観光桟橋や渚の駅を核に館山湾をいかに活用して南房総地域全体の観光振興や地域活性化につなげていくかに視点を置き、「館山港多目的観光桟橋利活用」や「交流拠点渚の駅を含めた交流ゾーン形成」、「海上・陸上交通網の構築」、「館山湾の防災・安全・環境の利用」など7つのプロジェクトを取りまとめました。今後は、近い将来のものから中長期的な視点を含めたプロジェクトもありますので、緊急性や必要性を検討し、関係機関との調整を図りながら、ビジョンの実現に向けて事業を進めていきます。

問　夏の観光シーズンを終えて、海・浜のルールブックの活用結果はどうであったか伺います。

答　館山警察署及び水上警察隊、海上保安庁千葉海上保安部、地元ボランティアとの合同パトロールの実施や、海水浴場でのライフセーバーによるルールの周知を行いました。また、海岸5箇所にルールの看板を設置しました。この結果、今夏は大きなトラブルもなく、ルールが徐々に浸透し始め、利用者のマナーも地元利用者を中心に向上していると感じています。

問　東京湾アクアライン800円化に伴う市の観光や経済への影響について伺います。

答　海水浴場などの入り込み状況を分析すると、7月は天候不順の影響で入り込みが鈍ったものの、8月は昨年度より増加している傾向が見られます。これは天候の回復に加え、8月よりアクアラインが800円に値下げされたことや、高速道路が休日やお盆の時期に一律1000円に値下げされたことなどが影響していると考えられます。また、アクアラインの交通量が8月の平均で前年比58パーセントの増、お盆期間の富津館山道路の平均交通量が前年比21パーセント増加しており、市内の国道127号などでも、渋滞・混雑が頻繁に発生しています。このため、館山自動車道の君津・富津竹岡間の4車線化と、国道127号の那古・富浦IC間の4車線化を早期に実現する必要があると考えています。

混雑する国道127号（那古地先）

建設土木

- 橋梁耐震検査
- 赤道及び青道

問　市道に架かる橋梁耐震検査の進捗状況と今後の取り組みについて伺います。

答　市が管理する133橋のうち、現在、橋長15メートル以上の18橋の点検が完了し、今年度に50橋、残りの橋梁については23年度までに実施予定です。

また、点検完了後、その結果で、緊急度等を踏まえ、長寿命化修繕計画を策定し、補修工事や補強工事など効率的な維持修繕を実施していきたいと考えています。

問　赤道・青道の現況把握をしているか、また、台帳整備をしているか伺います。

答　13年度より順次、国から譲与を受け、法定外公共物として管理しています。赤道は718箇所で延長約956キロメートル、青道は2227箇所で延長約357キロメートルです。

台帳整備は多額の経費がかかることから整備していません。

火葬場建設

問　新たな火葬場建設の進捗状況について伺います。

答　24年度操業開始を目指し

て年次的に進めていますが、今年度については、用地造成工事が予定されていることから工事発注に向けた準備を現在行っており、22年度から建物自体の工事を行う予定と安房郡市広域市町村圏事務組合から聞いています。

学校再編問題

問 現在、学校再編はどのようになっていますか。地域住民との話し合いは行われていますか伺います。

答 現在、教育委員会において、答申内容を尊重しながら学校再編基本方針の作成作業を進めています。作業終了後は、作成内容を基に市長部局と協議・連携を図りながら、できれば今年度末から来年度にかけて、全地域を対象に地域説明会を実施していきたいと考えています。

市の財政状況

問 経常収支比率が101・5パーセントとなったが、どのように受け止めて対処しようとしているか伺います。

答 経常収支比率の抑制については行財政改革方針で掲げた目標を粛々と進めていくことであると考えています。具体的には、歳出面では、引き続き予算編成時における枠配分などにより経常経費の抑制に努めていくとともに、歳入面では、短期的には市税徴収の強化、中長期的には経済活性化策による税収の増加など経常一般財源の確保に努めます。

用語解説 経常収支比率

経常収支比率とは、家計でいうとエンゲル係数にあたります。人件費、扶助費、公債費などの義務的性格の経常経費に充当された一般財源の額が、地方税、地方交付税、地方譲与税を中心とする経常的な収入、減税補てん債及び臨時財政対策費の合計額に対する割合で、地方自治体の財政構造の弾力性を判断するための指標です。これが大きくなるほど新たな財政需要に対応できる余地が少なくなり、一般的に70%から80%が適正とされています。

公設市場用地跡地

問 公設市場跡地利用構想と計画について伺います。

答 この場所は旧三芳村と旧白浜町を結ぶ基幹農道に面し、国道128号との交差点にも近く、交通の要所に位置しています。現在、庁内の関係課職員でプロジェクトチームを組織し、農業を中心とした交流拠点施設として、地域活性化と観光振興につながる活用方策を検討しているところです。今後は、地元の皆様のご意見を伺いながら有効な活用方策を策定したいと考えています。

会議録の検索・閲覧

9月定例会及び委員会の会議録は、12月上旬にホームページから検索・閲覧ができます。

また、従来どおりの会議録も、図書館で閲覧ができます。

また、「たてやま議会だより」は、平成20年5月号以降の分については、ホームページで閲覧ができます。

市議会を傍聴しませんか！

傍聴の手続きは、希望する当日に議会事務局（市役所2階）前で用紙に住所、氏名等を記載するだけです。

また、本会議を開いている時は、インターネットで、本会議の生中継を配信していますので、ご利用ください。（館山市のホームページでご覧になれます）

●次の定例会の予定●

開 会 日：12月4日（金）午前10時から
一般質問：12月9日（水）、10日（木）
予備日：11日（金）
各日それぞれ午前10時から
請願・陳情提出締切：11月27日（金）正午まで

編集後記

9月定例会では、決算審査特別委員会が設置され、活発な議論が行われました。

市財政は一段と厳しさを増し、20年度一般会計決算では経常収支比率が百パーセントを超える状況となってしまいました。市執行部と市議会が一丸となって健全財政を確保しなければなりません。経済活性化を図りつつ、行財政改革を断行しなければならないという難しい行政運営です。

議会として、市の情報を広く知ってもらい、読みやすく、議会の動きが良くわかる編集をしてまいりたいと思いますので、市議会に関する皆様のご意見、ご質問等をお待ちしています。

議会や議会だよりに関することのご意見、ご質問等は議会事務局まで電話又はメール（番号及びアドレスは表紙参照）でご連絡ください。

＊＊議会報編集委員会＊＊
（◎委員長 ○副委員長）
◎小幡 一宏 ○山口 安雄
榎本 祐三 早船 亮一

平成21年第3回臨時会提出議案議決結果

議案番号	件名	議決結果
議案第47号	館山市市税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決　全会一致
議案第48号	工事請負契約の締結について	原案可決　全会一致
議案第49号	平成21年度館山市一般会計補正予算（第3号）	原案可決　全会一致

平成21年9月定例会提出議案等議決結果

議案番号	件名	議決結果
議案第50号	館山市職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決　全会一致
議案第51号	平成21年度館山市一般会計補正予算（第4号）	原案可決　全会一致
議案第52号	平成21年度館山市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決　全会一致
議案第53号	平成21年度館山市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	原案可決　全会一致
議案第54号	平成21年度館山市介護保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決　全会一致
議案第55号	平成21年度館山市下水道事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決　全会一致
議案第56号	損害賠償の額の決定及び和解について	原案可決　全会一致
議案第57号	館山市名誉市民の称号を贈ることについて	原案同意　全会一致
議案第58号	館山市名誉市民の称号を贈ることについて	原案同意　全会一致
議案第59号	館山市教育委員会委員の任命について	原案同意　全会一致
議案第60号	館山市監査委員の選任について	原案同意　全会一致
認定第1号	平成20年度館山市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定　賛成多数
認定第2号	平成20年度館山市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定　全会一致
認定第3号	平成20年度館山市老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について	認定　全会一致
認定第4号	平成20年度館山市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定　全会一致
認定第5号	平成20年度館山市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定　全会一致
認定第6号	平成20年度館山市学童災害共済事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定　全会一致
認定第7号	平成20年度館山市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定　全会一致
請願第14号	市道八幡高井線、八幡神社第二鳥居横交差点に信号機を求める請願書	採択　全会一致
陳情第15号	現行保育制度に基づく保育施策の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書	了承できる（文教民生委員会）
陳情第16号	新要介護認定制度の中止・介護保険制度の改善のため国への意見書提出を求める陳情書	継続審査（文教民生委員会）
陳情第17号	子どもの医療費無料制度早期実現のため国への意見書提出を求める陳情書	了承できる（文教民生委員会）
陳情第18号	国民健康保険制度改善のため国への意見書提出を求める陳情書	了承できない（文教民生委員会）
発議案第6号	市道1214号線、市道1004号線交差点に信号機設置を求める意見書について	原案可決　全会一致
発議案第7号	現行保育制度に基づく保育施策の拡充に関する意見書について	原案可決　全会一致
発議案第8号	子どもの医療費無料制度の早期実現を求める意見書について	原案可決　全会一致
発議案第9号	健康保険制度の抜本的な見直しを求める意見書について	原案可決　全会一致
発議案第10号	認定第1号平成20年度館山市一般会計歳入歳出決算の認定についてに対する附帯決議	原案可決　全会一致